



～生活リハビリの実践～

リハビリテーションの意味は「再び獲得する」という意味です。加齢や障がいによって当たり前に行えた日常生活に支障をきたしてしまうことがあります。

リハビリとは機械による運動や施術だけではなく、大きく言えば、日常の生活行為、生活動作動作の一つひとつが、リハビリになりそれを「生活リハビリ」と言います。

例えば、トイレに座る際に、少し長めに立っていただくことで、下肢筋力の向上、立位の安定に繋がっていきます。また、車椅子の方でも足漕ぎで短い距離でも移動いただくことを繰り返すことで、徐々に脚力が回復される方もおられます。

こうした日常の生活行為の中で、意図しながら繰り返し行っていく「生活リハビリ」で自立度が高まり、生活に張りをもたらすことも可能となります。

記述の通り、リハビリは再獲得です。足や手が動くようになることだけではなく、その先に自分でトイレに行けるようになる、自分でご飯を食べられるようになる。そういった日常生活行為の自立に向けて、機能訓練士、看護師、介護士が連携を取りながら、日常生活での「生活リハビリ」検討・実施しております。

現在、リハビリセンター白鳥には2名の作業療法士が在籍しており、また同地区のサンビ校の教員の助言もあります。

日常生活の中で困っておられる事がありましたら是非、ご相談ください。



リハビリセンター白鳥の今をお伝えするニュースを、定期発行させていただきます。
是非、お目通しください。

リハビリセンター白鳥 職員一同